

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

世界の中のパレスチナとイスラエル ～ガザで生きる人々に光をあてて～

「アラブの春」が国際社会の注目を集める一方、イスラエルの軍事侵攻に60年以上さらされ、日常化した紛争状態の中でくらすパレスチナの人々。その姿がメディアで伝えられる機会は多いとはいえません。講師の古居みずえさんは、20年以上にわたってガザ地区を訪れ、女性や子どもの姿を日本で発信し続けています。パレスチナの人々のくらしや願いを知り、問題の背景を理解し、この問題にどのように取り組むのか、ともに考えましょう。



講師：古居 みずえさん（アジアプレス）

日時：2013年6月29日(土) 16:00～30日(日) 12:00

場所：関西セミナーハウス [裏面地図をご参照ください。]

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 電話：075-711-2115

参加費：10,500 円（1泊2食込み）・部分参加については事務局にお問合せ下さい。

* 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りに対するご要望のある方はお問い合わせください。

* FAX(裏面書式)、電話、電子メール等でお申し込みください。HPからも申し込みます。(着信確認をお送りします。)

* 申込締切: 6月 26日(水)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

* 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

古居 みずえ FURUI Mizue

ジャーナリスト・映画監督。アジアプレス所属。1988年よりパレスチナを取材。新聞・雑誌・テレビなどで発表。第1回監督作品『ガーダ パレスチナの詩』が好評を博し、同作品で石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞。

著書：『ガーダー女たちのパレスチナ』（彩流社）、『インティファダの女たち—パレスチナ被占領地に行く』（彩流社）、写真集『瓦礫の中の女たち』（岩波書店）、『「戦地」に生きる人々』（共著：集英社新書）、『ぼくたちは見た—ガザ・サムニ家の子どもたち—』（彩流社）

ドキュメンタリー映画：「ガーダー—パレスチナの詩—」、「ぼくたちは見た—ガザ・サムニ家の子どもたち—」

◎ セミナー当日のタイムテーブル

【1日目】	15:30 ~	受 付
	16:00 ~	セッション1 「パレスチナ問題ってどんなこと？」 ・クイズで考えよう！パレスチナ ・映像とお話
	18:00 ~	夕 食
	19:00 ~	セッション2 「パレスチナの人々はどうやってくらしているの？」 ・映像とお話
	21:00 ~	交流会

【2日目】	8:00 ~	朝 食
	9:00 ~	セッション3 「私たちには何ができるの？」 ・フォトランゲージ「何をしているのでしょうか？」 ・ロールプレイ「パレスチナ問題」
	12:00	終了予定

◇ 2013年度 開発教育セミナー

第1回 6月23日（日）「開発教育入門セミナー」《協力プログラム》

〈主催：JICA関西国際センター、京都市国際交流協会〉会場：京都市国際交流会館

第4回 9月14日（土）～15日（日）「日本の中のアジア、アジアの中の日本～ウトロを「歩く・見る・聞く」」
講師：中村 尚司（龍谷大学人間・科学・宗教総合研究センター）

第5回 11月16日（土）～17日（日）
「グローバル化の中で求められる経済のしくみ～子どもたちとつくる未来のために」
講師：浜 矩子（同志社大学大学院教授）

第6回 12月14日（土）～15日（日）「気づきと対話のファシリテーション～アジアの共存と平和」
講師：池住 義憲（立教大学大学院教授）

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト（<http://www.academy-kansai.org>）にも随時掲載いたします。

〈主催〉

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担 当 都木かおり



[2013年度第2回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)	
名 前	(男・女) 所 属
住 所 〒	
電話 () - FAX () -	
電子メール :	@
通信欄	